

7.0型ワイドシステムTV/DVD-A/DVD-V/VCD/CD/チューナー・
5.1ch対応・MP3対応・DSPメインユニット

AVH-P9DVAⅡ

取付説明書

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



PRINTED WITH
SOY INK

この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2005

< KMMZF > < 05C00000 > < CRA3750-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する — 2ページ

② 接続のしかた

接続の前に知ってほしいこと — 5ページ

ノイズフィルター取り付け — 7ページ

接続端子のなまえと働き — 8ページ

システムの接続 — 10ページ

「AVIC-H990」「CDX-P670」

電源コードの接続(本体) — 12ページ

電源コードの接続

(ハイダウェイユニット) — 14ページ

フィルムアンテナの接続 — 15ページ

スピーカーの接続 1 — 16ページ

スピーカーの接続 2 — 18ページ

RCA映像/音声入力・出力の接続 — 19ページ

③ 取り付けかた

取り付けの前に知ってほしいこと — 20ページ

ハイダウェイユニットの取り付け — 21ページ

本体の取り付け — 24ページ

リモコンの取り付け — 27ページ

フィルムアンテナの取り付け — 28ページ

フィルムアンテナ電源

ユニットの取り付け — 34ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

接続・取り付けが終わったら — 35ページ

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



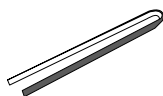
バインドネジ
(5 × 6 mm) × 4



バインドネジ
(4 × 3 mm) × 4



皿ネジ
(5 × 6 mm) × 4

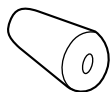


目隠しシール × 1



クリーニング
クロス × 1

別売の取付キット関係



ブッシュ × 1



ネジ × 1

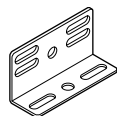
別売の取付キットで本機を取り付ける場合

ブッシュを使用した本体の取り付けを行う場合、本機に付属のネジとブッシュを使用してください。別売の取付キットに同梱のネジ、ブッシュを使用すると、正しく取り付けられないため本機の故障の原因となります。

ハイダウェイユニット関係



ハイダウェイ
ユニット×1



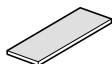
取付アングル×2



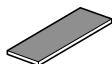
タッピングネジ
(4 × 12 mm) × 4



座付きネジ
(4 × 8 mm) × 4



マジックテープ (大)
(かたい方) × 2



マジックテープ (大)
(やわらかい方) × 2

リモコン関係



リモコン × 1



リチウム電池
(CR2025) × 1



マジックテープ (小)
(かたい方) × 1

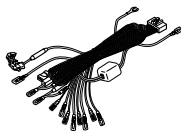


マジックテープ (小)
(やわらかい方) × 1

接続・取り付け部品を確認する

つぎ

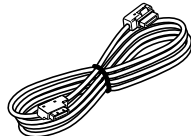
コード関係



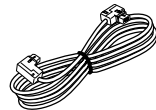
電源コード
(本体用) × 1



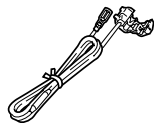
電源コード (ハイダ
ウェイユニット用) × 1



30ピンケーブル
(3 m) × 1



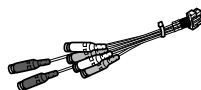
21ピンケーブル
(3 m) × 1



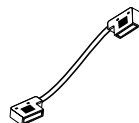
紫/白リード線延長
コード (8 m) × 1



アンテナ延長
ケーブル (3 m) × 1



RCA出力コード × 1



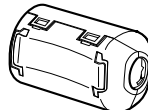
30ピンRGB中継
ケーブル (15 cm) × 1



音響特性測定用
マイク × 1
(取扱説明書)



結束バンド × 8

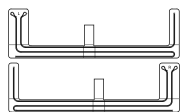


ノイズフィルター
(大) × 5



ノイズフィルター
(小) × 4

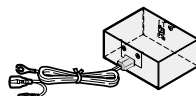
フィルムアンテナ関係



フィルムアンテナ
左用・右用 各1



ブースターアンプ × 1



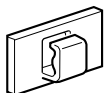
フィルムアンテナ
電源ユニット × 1



両面テープ
(50 × 20 mm) × 1



クリーナークロス × 1



クランパー × 6

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 から8 のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと、テレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。

ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続の前に知ってほしいこと

つづき

接続のポイント

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、フィルムアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。

- * 30ピンケーブル
- * 21ピンケーブル
- * 本体
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * RGBケーブル
- * IP-BUSケーブル
- * RCAコード
- * 電源コード
- * 車のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

RCAコードに何も接続しない場合は、付属のキャップを外さないでください。

30ピンRGBおよびIP-BUSの接続について

30ピンRGBおよびIP-BUSの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください(コネクターの接続部分が色分けされています)。違う色のコネク터를接続すると、正常に動作しないことがあります。

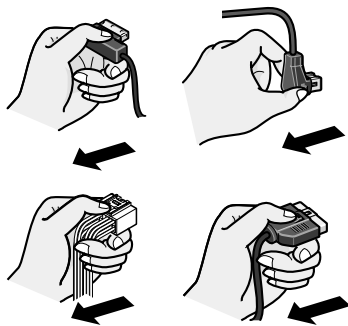
電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

コネクターの着脱のしかた

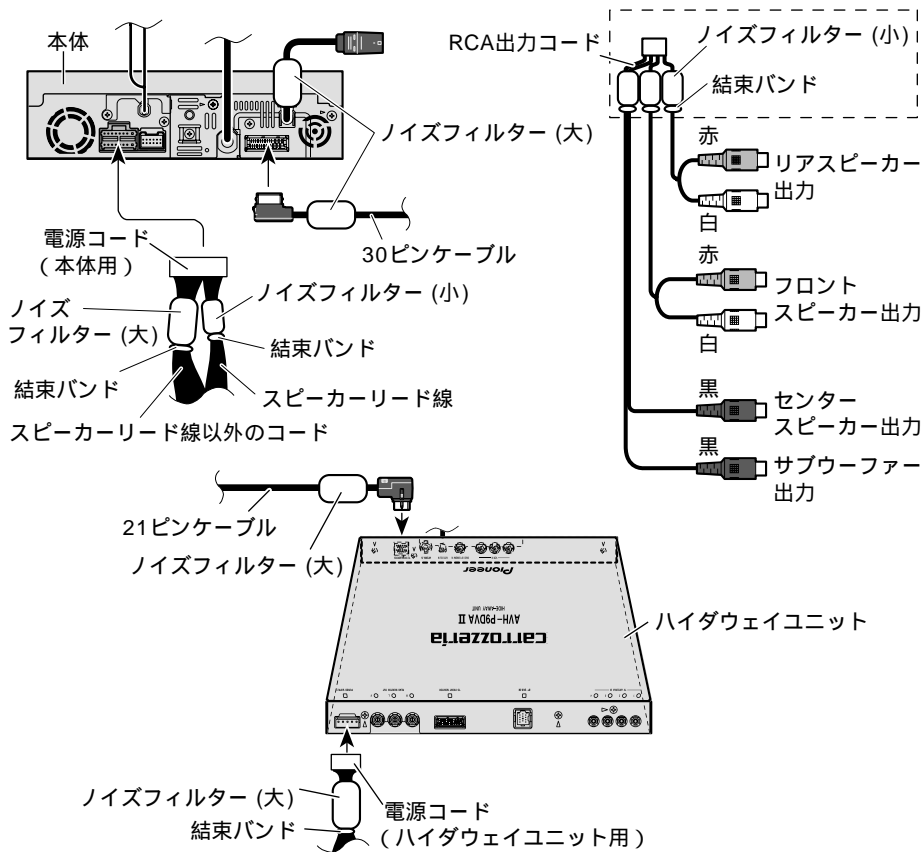
コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



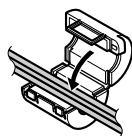
ノイズフィルターの取り付け

ノイズを防ぐために、付属のノイズフィルターを取り付けます。



接続のしかた

ノイズフィルター (小) の取り付けかた



ノイズフィルターの溝にコードを束ねてはさみます。

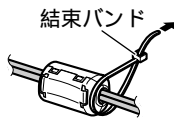


結束バンドをノイズフィルターの穴に通して締め、コードを固定します。

ノイズフィルター (大) の取り付けかた



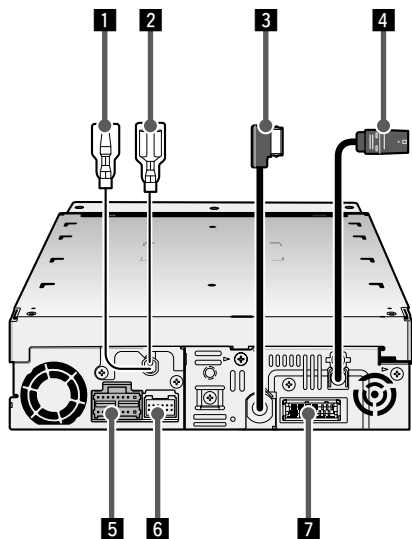
ノイズフィルターの溝にコードを束ねてはさみます。



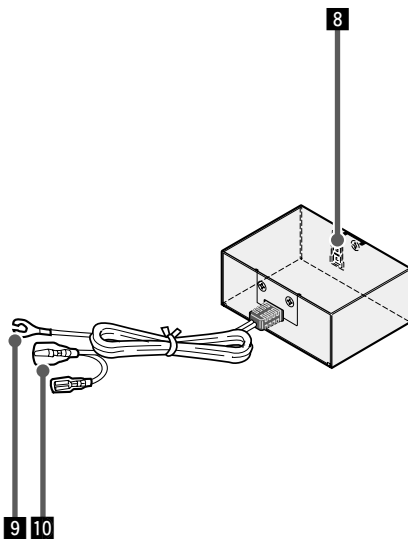
結束バンドを締めて、コードを固定します。

接続端子のなまえと働き

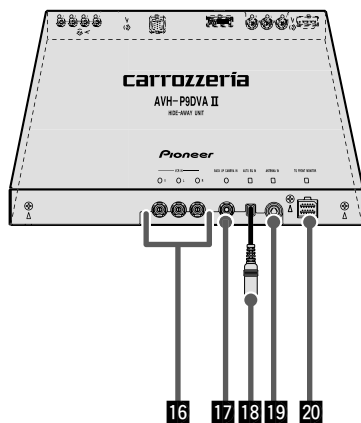
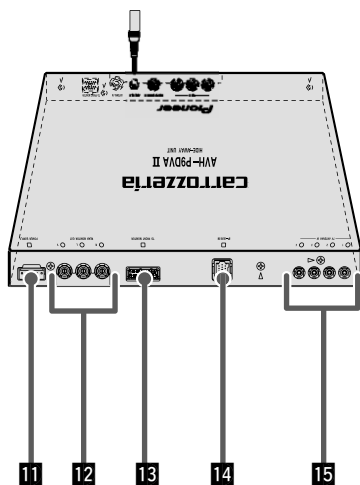
本体



フィルムアンテナ電源ユニット



ハイダウェイユニット



1 バック信号入力 (紫/白) (15 cm)

車の前進/後退を判断するために使用します。「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

2 オートアンテナ (青) (20 cm)

アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。) 下記以外の場合は、何も接続しないでください。

オートアンテナ車の場合：

車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

アンテナブースターの電源がある場合：
車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

3 30ピンRGBケーブル (緑) (40 cm)

パイオニア製の30ピンRGB出力付きのナビゲーションと接続します。

4 21ピン入力端子 (黒) (15 cm)

21ピンケーブルで、ハイダウェイユニットと接続します。

5 電源

付属の電源コード (本体用) を接続します。

6 スピーカー出力端子 (RCA)

付属のRCA出力コードを使用して、スピーカーやサブウーファーに接続します。

7 30ピン入力端子 (紫)

30ピンケーブルで、ハイダウェイユニットと接続します。

8 フィルムアンテナ電源

ブースターアンプの電源コードを接続します。

9 アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

10 アクセサリー電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

11 電源

付属の電源コード (ハイダウェイユニット用) を接続します。

12 リアモニター映像出力端子 (黄)/

リアモニター音声出力端子 (白・赤)

リアモニター (後部座席用モニター) 用の信号が出力されます。後部座席に設置するモニターの入力端子と接続してください。それ以外は、何も接続しないでください。

13 30ピン出力端子 (紫)

30ピンケーブルで、本体と接続します。

14 IP-BUS入力端子 (青)

IP-BUS出力のある製品を接続します。

15 フィルムアンテナ接続端子1～4

付属のフィルムアンテナを接続します。1から順に接続してください。


16 映像入力 (黄)/音声入力 (白・赤)

RCA出力付きポータブルビデオなどを接続することができます。

17 バックカメラ入力端子 (黄)

バックカメラを接続します。

18 音響特性測定用マイク入力端子 (40 cm)

オートイコライジングをするときに、付属の音響特性測定用マイクを接続します。
( 取扱説明書)

19 アンテナジャック

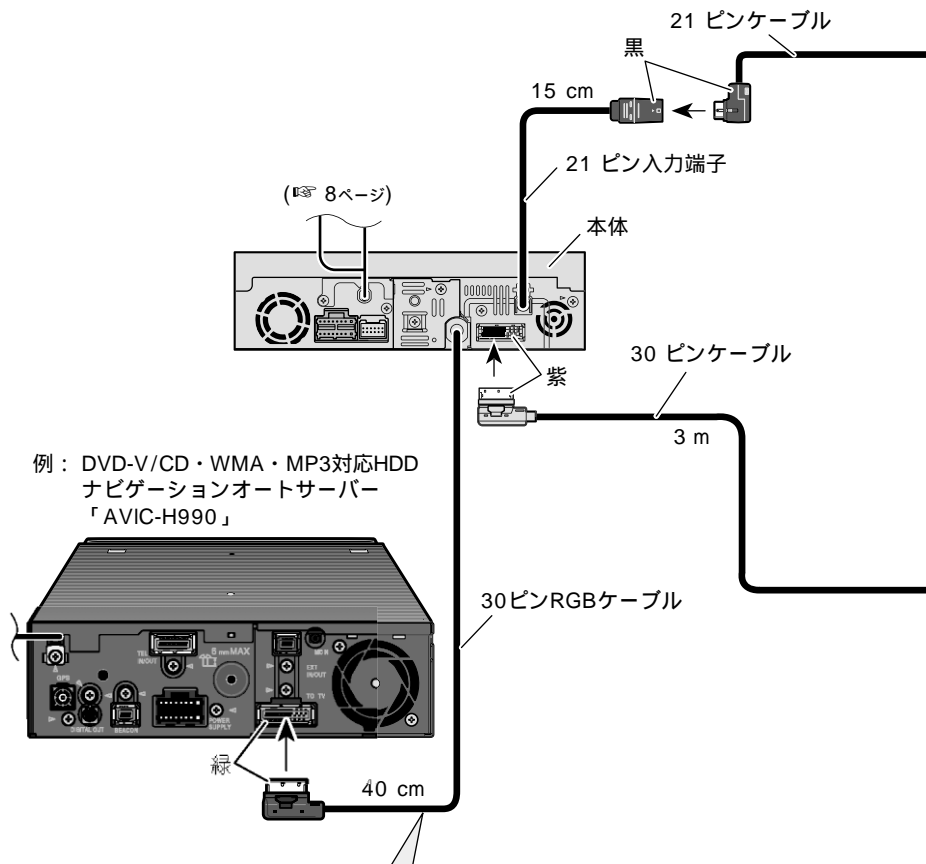
カーアンテナプラグを接続します。

20 21ピン出力端子 (黒)

21ピンケーブルで、本体と接続します。

システムの接続

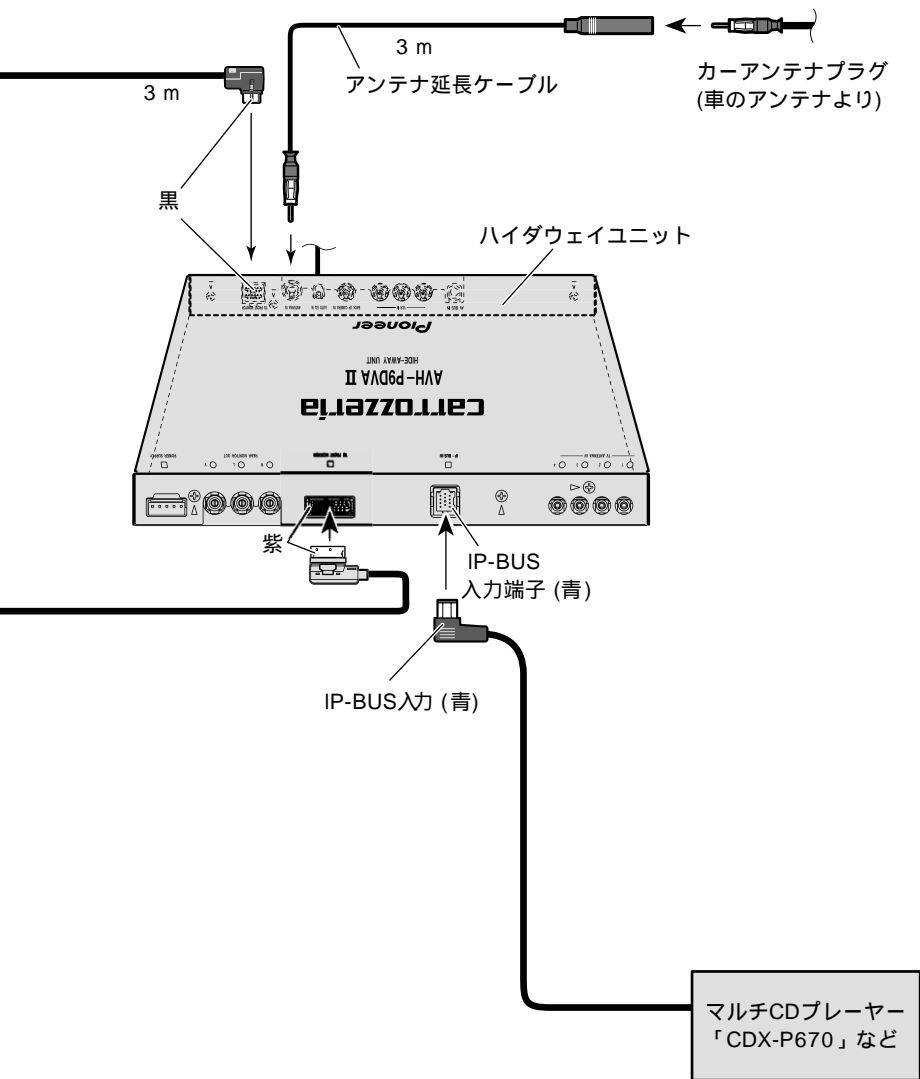
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



例：DVD-V/CD・WMA・MP3対応HDD
ナビゲーションオートサーバー
「AVIC-H990」

長さが足りないときは、付属の30ピンRGB中継ケーブル(15 cm)と「AVIC-H990」に付属の30ピンRGBケーブル(3 m)をお使いください。

「AVIC-H990」「CDX-P670」と組み合わせた場合



電源コードの接続（本体）

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

注：赤、黄、橙/白リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注：電源コードの、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

+ バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

アクセサリ電源

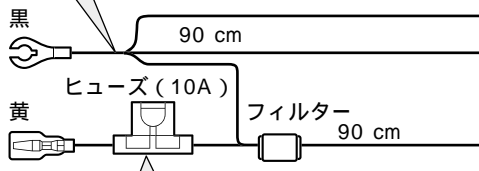
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

イルミ電源

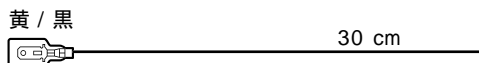
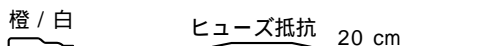
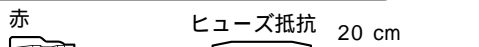
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路（時計の照明回路やスモールランプ回路など）に接続してください。

ミュート

パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。（別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。）組み合わせた別売製品に黄/黒リード線（セルラーミュートまたはミュート）がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。



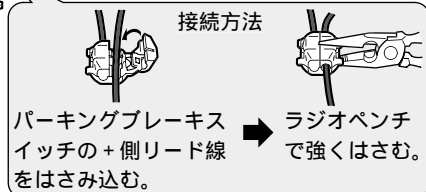
注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

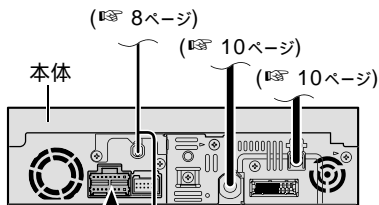


注：このリード線の接続を間違ったり、忘れてしまうと、テレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。



パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。





電源コード (本体用) 紫 / 白

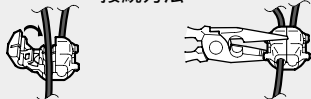
バック信号入力

この接続は車の前進 / 後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

バックカメラを使用する場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。

紫 / 白
8 m

接続方法

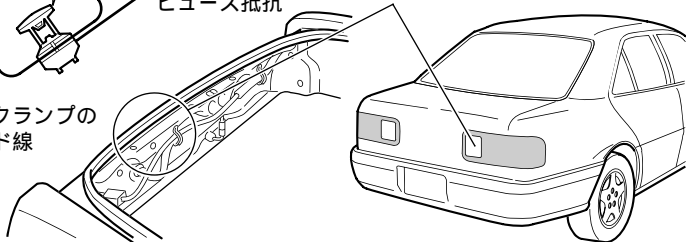


バックランプのリード線をはさみ込む。 → ラジオペンチで強くはさむ。

バックランプ (シフトレバーがリバース [R] のときに点灯するランプ) の位置を確認し、トランク内から、バックランプのリード線を取り出します。

ヒューズ抵抗

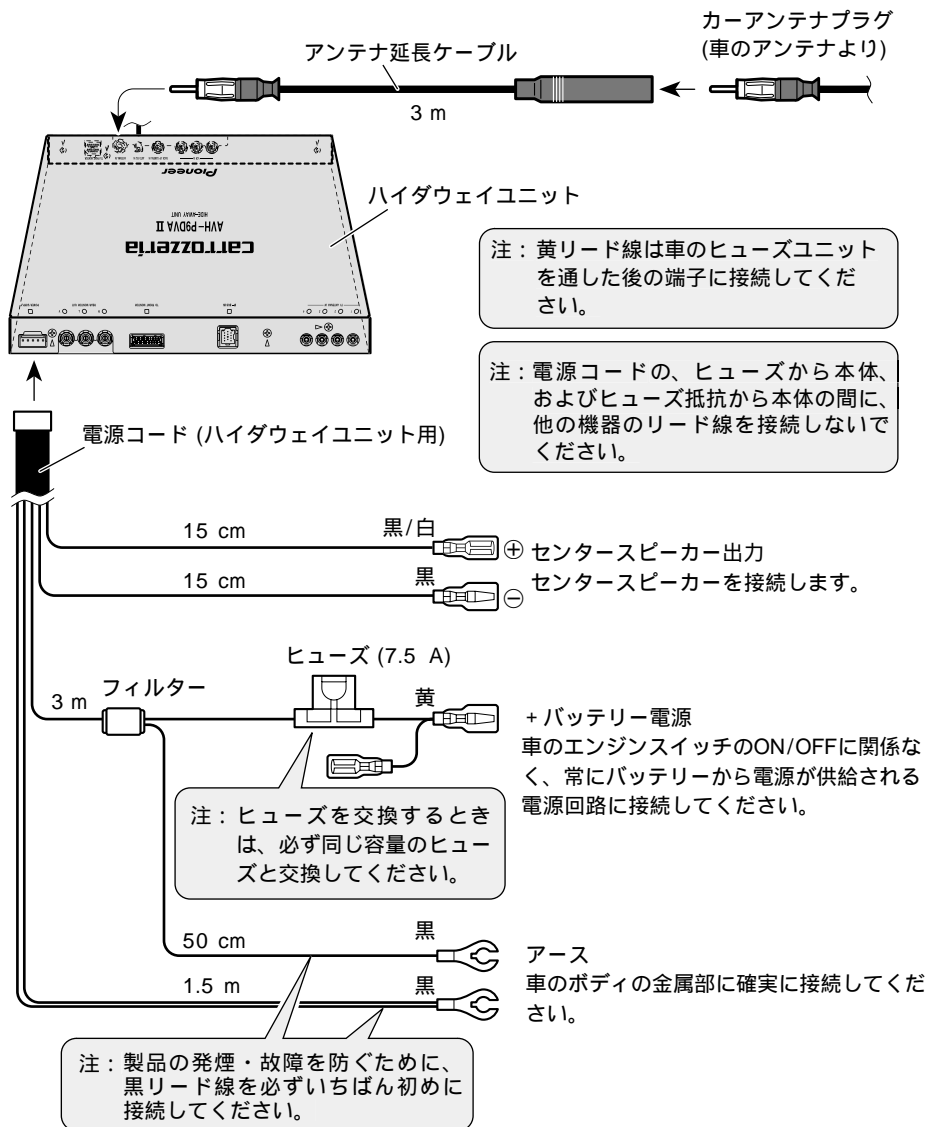
バックランプのリード線



スピーカーリード線の説明は (16ページ)

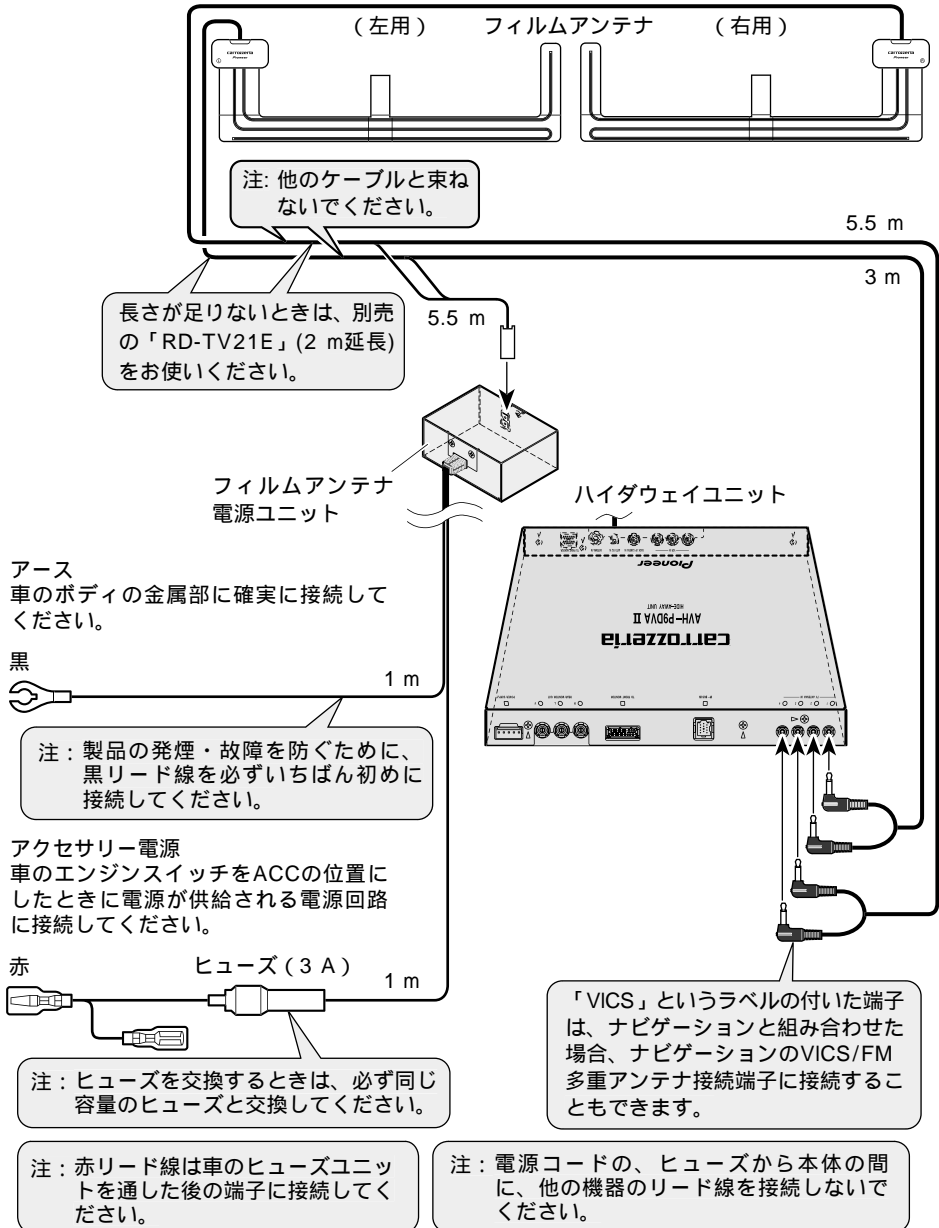
電源コードの接続 (ハイダウェイユニット)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



フィルムアンテナの接続

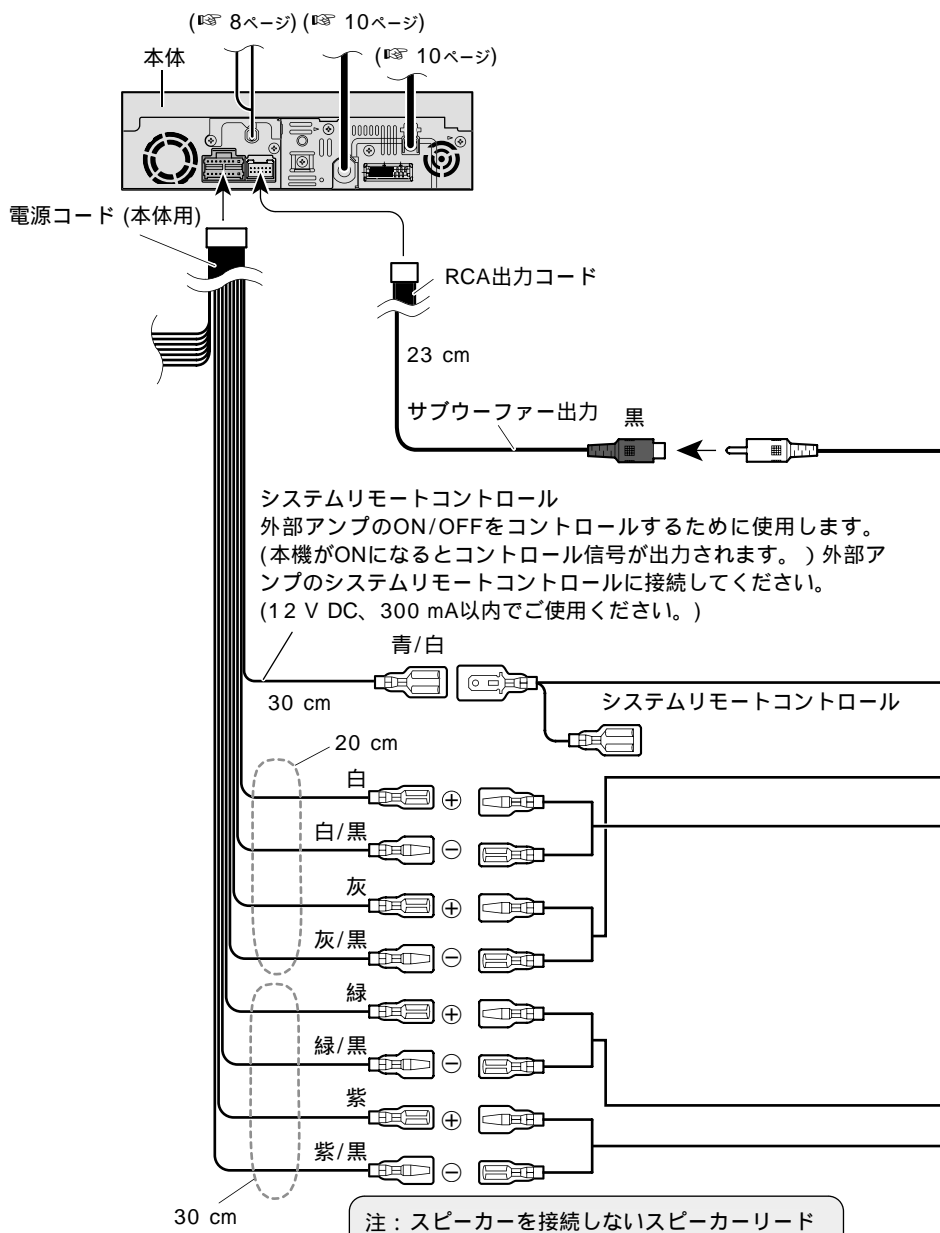
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



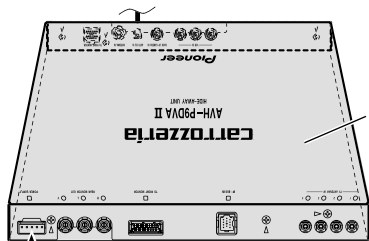
接続のしかた

スピーカーの接続 1

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。



ハイダウェイユニット

電源コード
(ハイダウェイユニット用)

15 cm

黒/白

15 cm

黒

センタースピーカー出力

市販の
RCAコード

市販のRCA
分岐コード

赤
白

RCA入力端子へ

サブウーファー用
外部アンプ
「例：GM-A3200」

(前)

フロントSP

センター SP

(左)

(右)

リアSP

リアSP

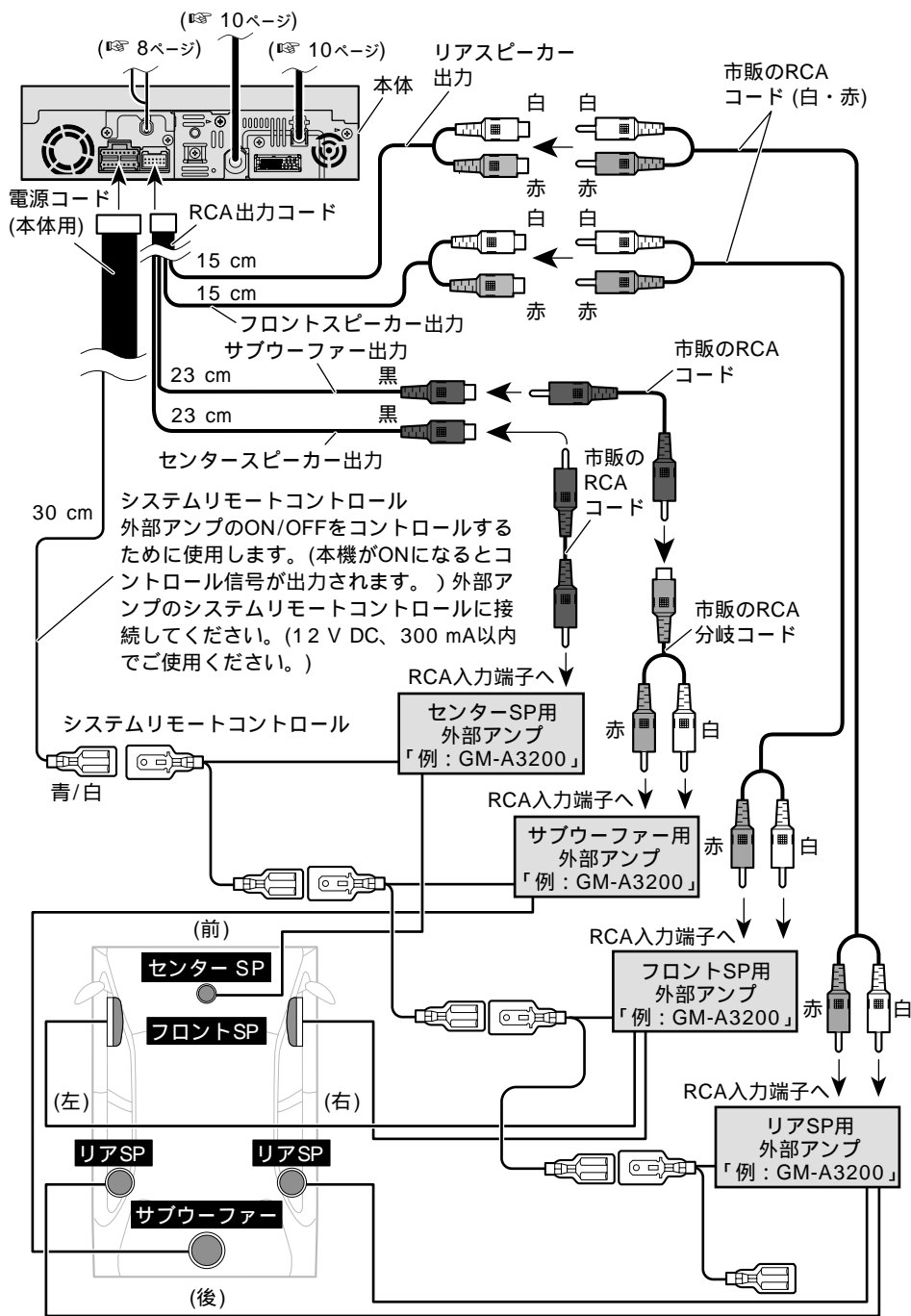
サブウーファー

(後)

接続のしかた

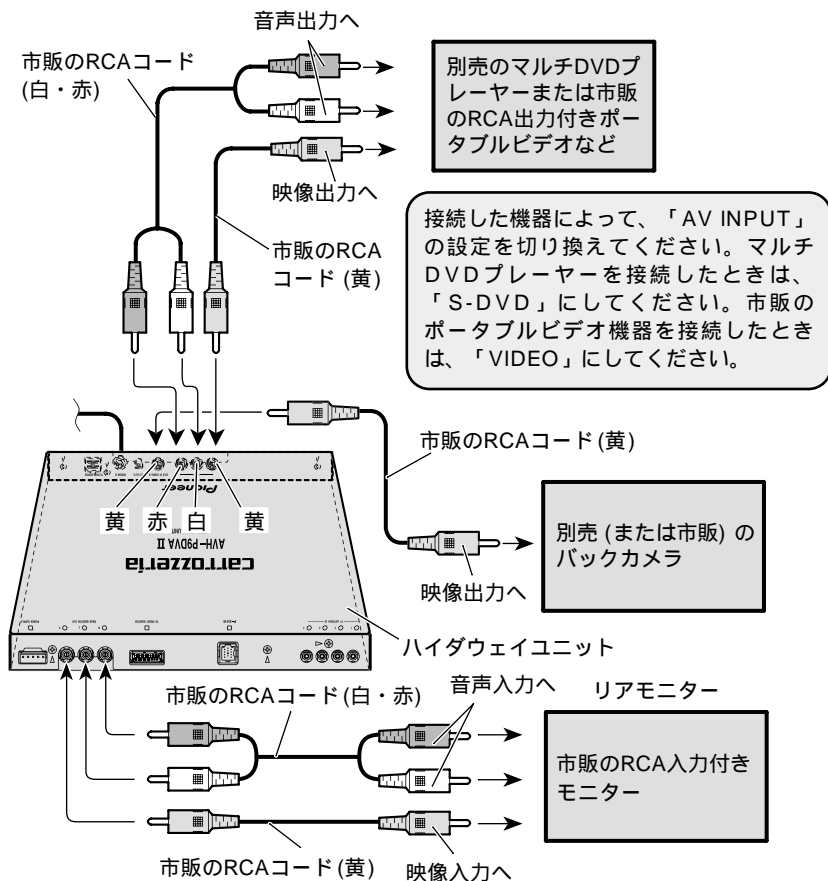
スピーカーの接続 2

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



RCA映像/音声入力・出力の接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



警告

リアモニター出力に接続したモニターを使用する場合



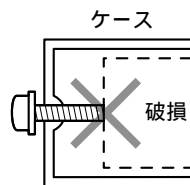
本機のリアモニター出力は、後部座席でテレビやDVDを見るモニターを接続するためのものです。リアモニター出力に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

リアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力はパーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに入れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けできないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「AD-N980」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。また、両面テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

ノイズ防止のために

フィルムアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。フィルムアンテナは、「フィルムアンテナの取り付け」(P.28ページ)の説明に従って正しく取り付けてください。

ノイズ防止のため、フィルムアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。

- * 30ピンケーブル
- * 21ピンケーブル
- * 本体
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * RGBケーブル
- * IP-BUSケーブル
- * RCAコード
- * 電源コード
- * 車のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

ハイダウェイユニットの取り付け

取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。

- * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

本機は冷却効果を高めるため冷却ファンを使用しています。このため、冷却ファンの周辺は十分なスペースをあけて取り付けてください。また、ヒーターの吹き出し口など高温になる場所への取り付けや、カーマットなどで本機全体を覆うなどの取り付けかたは絶対に行わないでください。

ハイダウェイユニット側面



この部分をふさが
ないでください。

ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けないでください。

スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けないでください。

スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。

ハイダウェイユニットを設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けないでください。

ハイダウェイユニットは、GPSアンテナからできるだけ離して取り付けてください。GPSアンテナの受信感度が悪くなる恐れがありますので、GPSアンテナの近くには取り付けないでください。

フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

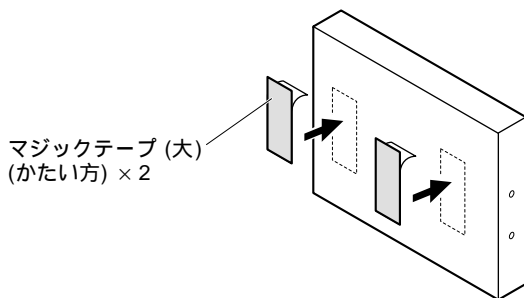
ハイダウェイユニットの取り付け

つづき

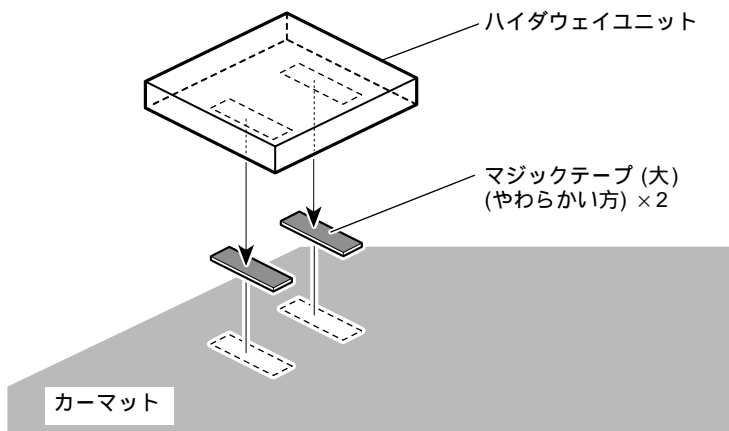
マジックテープでの取り付けかた

- 1 マジックテープ (大) (かたい方) をハイダウェイユニットの底面に貼り付ける

マジックテープを貼り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



- 2 マジックテープ (大) (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付ける



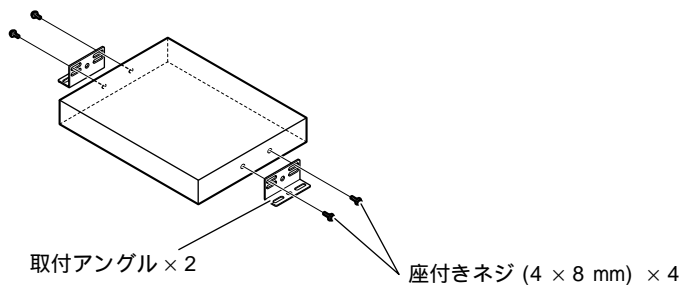
メモ

マジックテープ (大) (かたい方) がカーマットにくっつく場合は、カーマットに直接取り付けることもできます。この場合、マジックテープ (大) (やわらかい方) は使用しません。

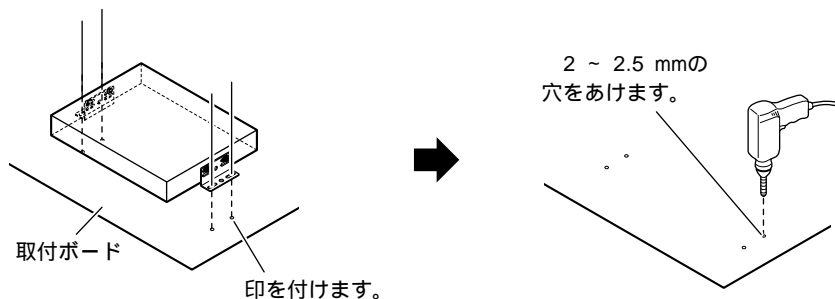
取付アングルでの取り付けかた

1 取付アングルをハイダウェイユニットに取り付ける

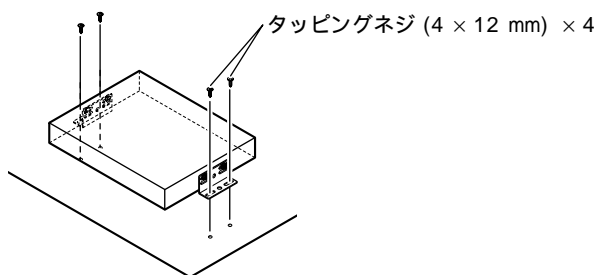
ハイダウェイユニットを車に取り付けるために、取付アングルをハイダウェイユニットに取り付けます。



2 取り付ける位置を決め、穴を開ける



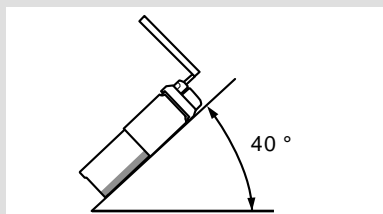
3 タッピングネジで、しっかり固定する



● 本体の取り付け

取り付け上のご注意

本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。

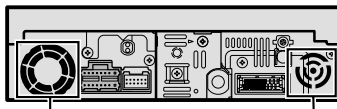


必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。

車種によっては、モニターが立ち上がったときに、車のエアコンなどの操作ボタンを押してしまうことがあります。このようなときは販売店にご相談ください。

放熱を妨げないために、下図の部分をふさがないようにしてください。

本体背面



この部分をふさがないようにしてください。

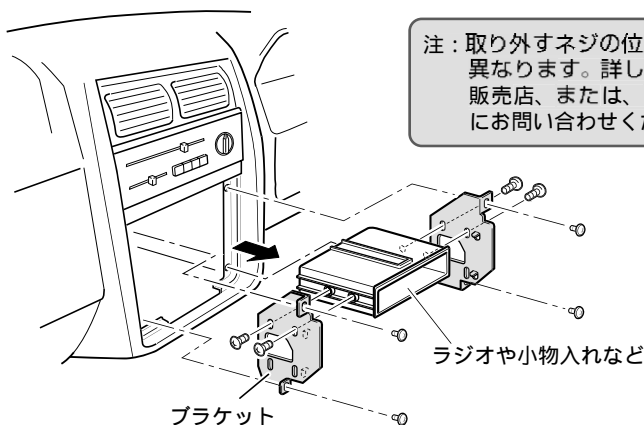
本機とカーステレオを重ねて取り付けるときは、本機を上にして取り付けてください。本機を下に取り付けると、モニターが立ち上がったときに、カーステレオの操作ボタンを隠してしまい、カーステレオの操作の妨げになります。

車種によっては、モニターがコンソールやダッシュボードに当たってしまい、モニターの角度を上向きに調節できない場合があります。

エアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないように取り付けてください。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



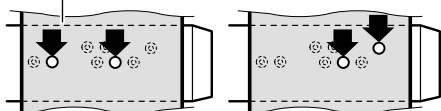
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。
 ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

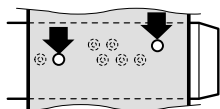
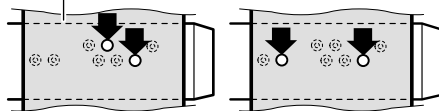
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



日産車の場合

日産車ブラケット



取り付けスペースの奥行きが少ない車に取り付ける場合

本機の奥行きは、一般のカーステレオよりもやや長くできています。通常のネジ穴の位置でコンソールに収納できない場合は、使用するネジ穴を後側にずらして取り付ける事も可能です。

例：日産車の場合

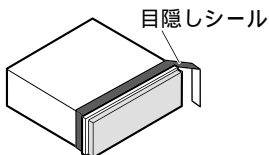
	タイプ 1	タイプ 2
	日産車ブラケット	
通常のネジ穴を使用する場合		
後側のネジ穴を使用する場合		

取り付けスペースの奥行きが少ないなどの理由で「後側のネジ穴を使用する場合」には、加工するなどして、必ず片側2カ所ずつネジ止めしてください。片側1カ所止めの場合、音飛びや故障の原因となります。また、車種によっては窓口パネルの加工なども必要となりますので、商品の取り付けにあたっては、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体の取り付け

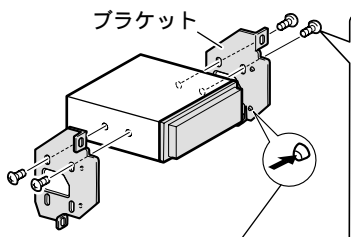
つづき

ネジ穴を後方にずらして取り付けた場合は、付属の目隠しシールを本機前面に貼り付けます。



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



車両側のブラケットの凸部やツメがじゃまになり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。

*作業の際には安全に十分ご注意ください。

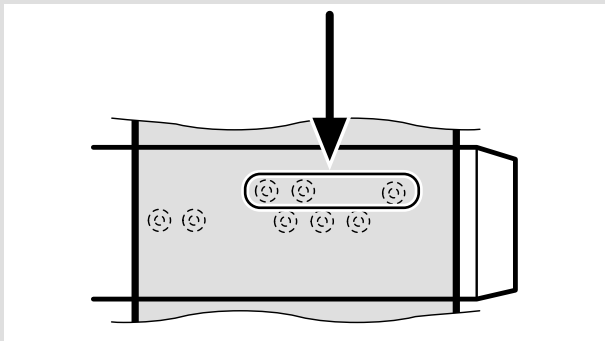
バインドネジ (5 × 6 mm) × 4	バインドネジ (4 × 3 mm) × 4	皿ネジ (5 × 6 mm) × 4

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

注：付属のネジ以外は使用しないでください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

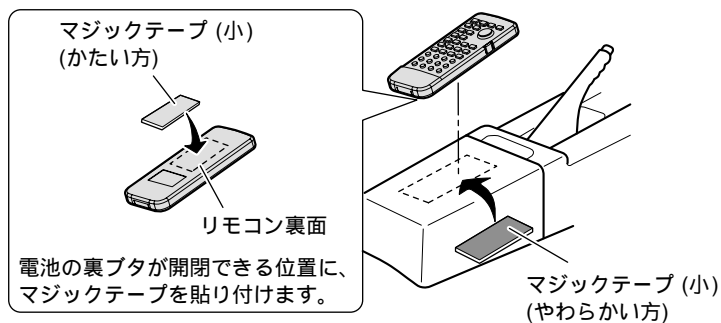
ブラケット取り付け時のご注意

左側、右側、どちらも下記のネジ穴は付属のバインドネジ (4 × 3 mm) を使用してください。



リモコンの取り付け

リモコンは、付属のマジックテープ (小) を使用して取り付けます。



フィルムアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが、故障ではありません。

アンテナは、フロントウィンドウ専用です。車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）や、後面（リアウィンドウなど）に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。

車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。

熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。

フロントガラスに横352 mm × 縦103 mmの2枚分のスペースが無い車には、取り付けることができません。

ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。

必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。

保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。

保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付の運輸省（現、国土交通省）令第95号をいいます。

フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。

作業場所は、風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んで下さい。

気温が低いときに作業を行うときは、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めておいてください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。

必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

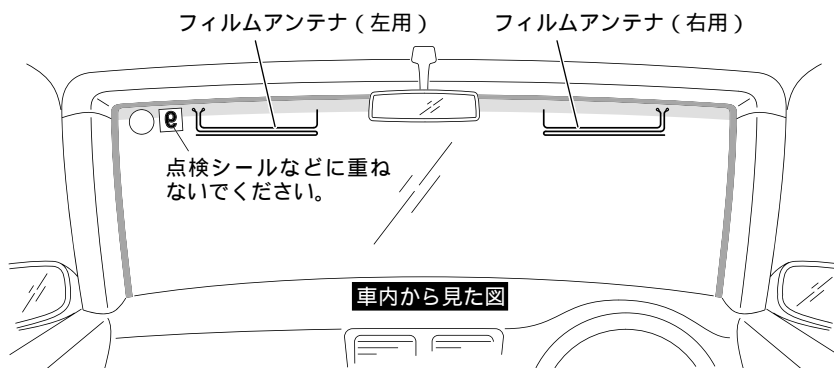
ナビゲーションと組み合わせる場合のご注意

ナビゲーションに付属の取付説明書も合わせてご覧ください。

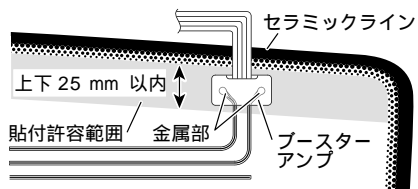
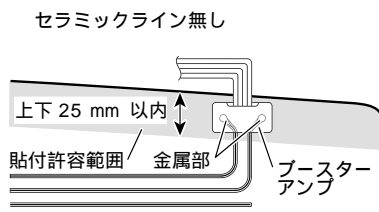
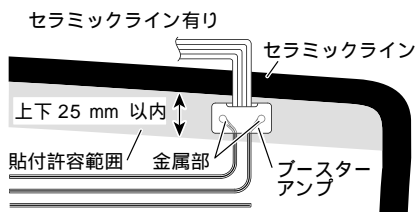
貼り付け位置について

⚠️ 必ずお守りください

運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず下図の「ブースターアンプおよび金属部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。



ブースターアンプおよび金属部の貼付許容範囲

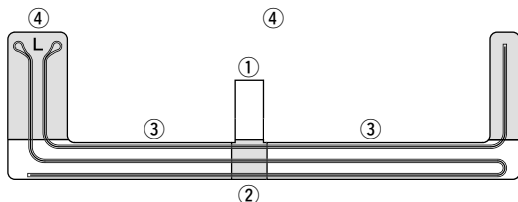


フィルムアンテナの取り付け

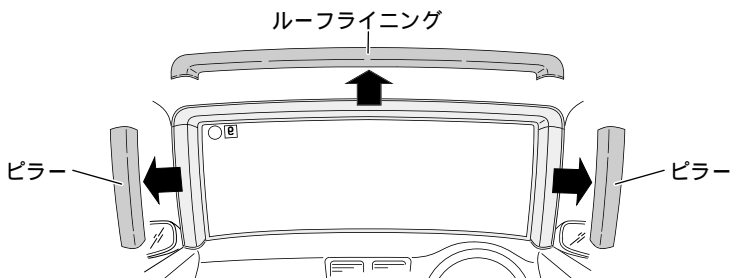
つづき

フィルムアンテナを貼り付ける

フィルムアンテナの裏シートには5本のスリットが入っています。下図の番号順に裏シートをはがし、フィルムアンテナをフロントウィンドウに貼り付けます。

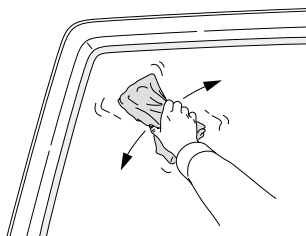


1 車内の内張り（ピラー、ルーファイニングなど）を取り外す



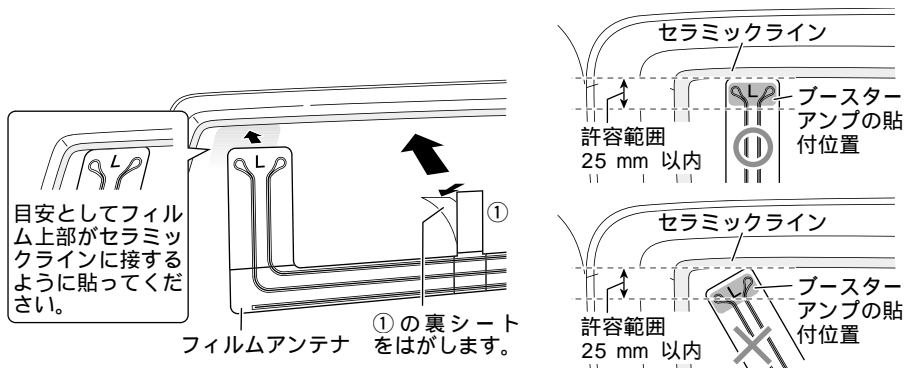
2 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



3 ①をはがし、フロントウィンドウ内側に仮貼りを行い、貼り付け位置を決める

フィルムアンテナには左用、右用があります。①は左側に、⑥は右側に貼り付けてください。

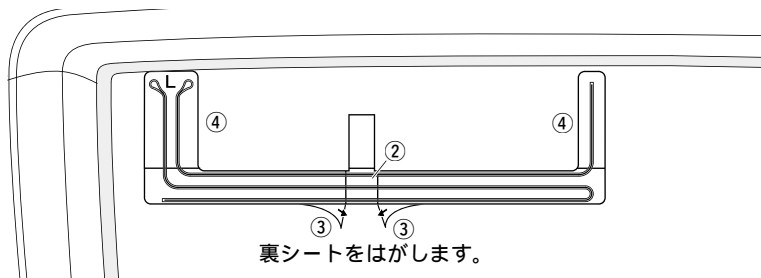


メモ

取り付け例としてセラミックライン有りの車で説明しています。詳しくは貼付許容範囲 (P.29ページ) を参照してください。

4 ②~④を番号順にはがしながら、フロントウィンドウにしっかりと密着させる

- ③、④は左右どちらが先でもかまいません。
- ③、④をはがす時には、内側からシワにならないように密着させてください。

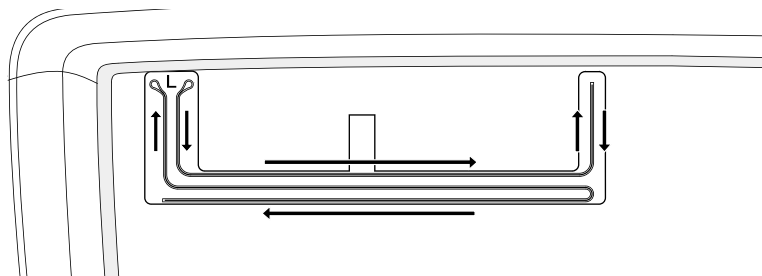


フィルムアンテナの取り付け

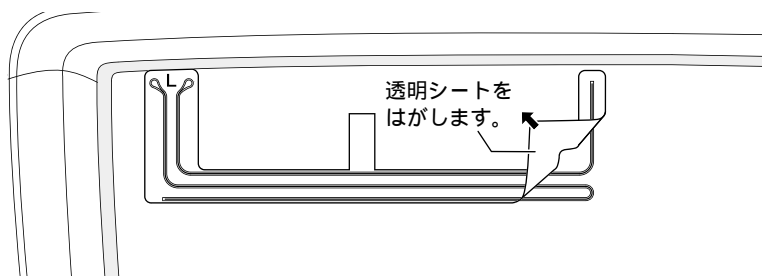
つづき

5 透明シートの上からしっかりと密着させる

下図の矢印の方向に、アンテナパターンに沿ってこすり、密着させてください。



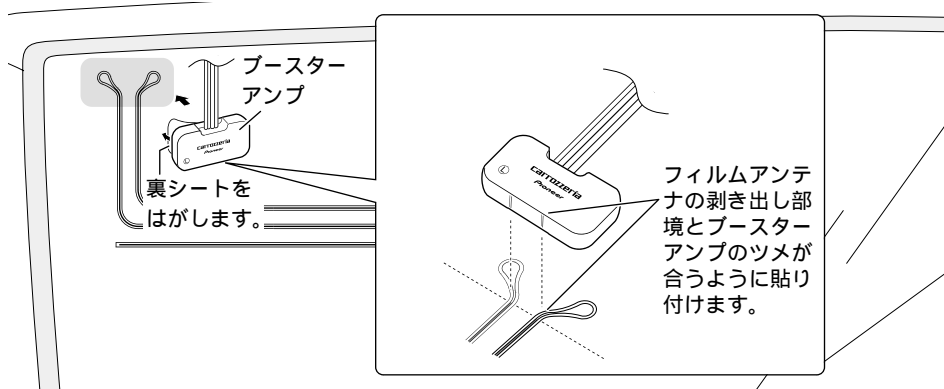
6 透明シートをゆっくりとはがす



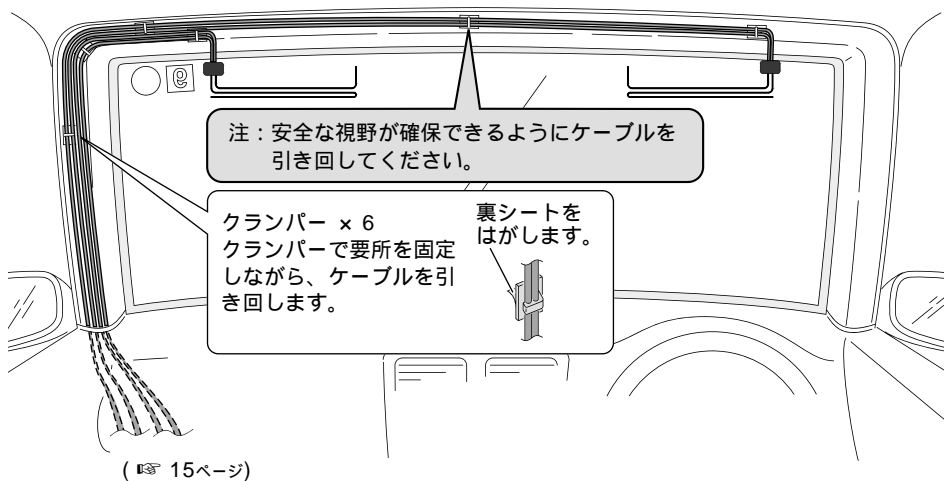
7 残りのフィルムアンテナも同様に貼り付ける

8 ブースターアンプをフィルムアンテナの金属部に貼り付ける

ブースターアンプには左用、右用があります。①は左側に、②は右側に貼り付けてください。



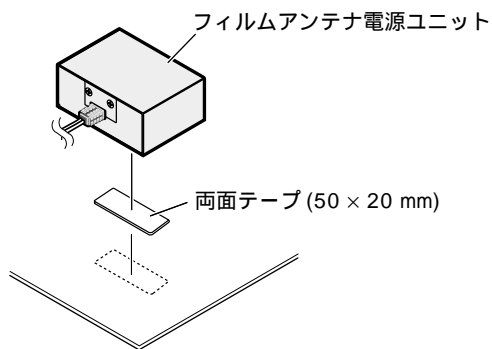
9 ケーブルを引き回す



10 内張りを元に戻す

フィルムアンテナ電源ユニットの取り付け

フィルムアンテナ電源ユニットは、付属の両面テープを使用して取り付けます。



接続・取り付けが終わったら

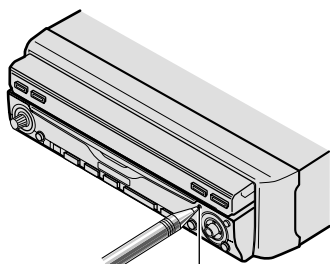
接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクターは確実に接続されているか、もう一度、目で見ても確認してください。

2 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

3 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する (取扱説明書)